

ニ変更セリ各職工ハ又勢ヲ揚ゲ交渉委員ヲ見送ラントシ正午昼食  
時ヲ利用シ女工ヲ先頭ニ労働歌ヲ高唱シ南門入口ニ參集シタルヲ以テ  
之ニ參加シ居ラサル造船、造船其他ノ職工ニ堅付テ一時何事カ敢死  
シタルハナク觀アリンモ就業業汽笛・相因ニテ漸次自己ノ作業場ニ復  
帰シ西午ニ静後ニ席セリト曰工場ノ出勤率及作業能率下歟トト  
平定ト曰ラス口リ電氣又工場ノミトモ業ノ又味アリキ

午正二時後記委員ハ要求書ヲ携帶シ会社ニ出頭シタルニ会社側ヨ  
リ重役永田小太郎外社員及新聞記者(大阪毎日・今朝日・神戸新  
報・又新日報)四名之令高令社側ヨリ筆記役トシテ柳川秋書及  
国木田収ニ職工側ヨリ吉村善一郎外三名出席シテ三鷹接室  
ニ於テ令見セリ時ノ頭尾川委員ハ永田重役ニ向テ五ツノ電正令  
代表ノ要求書ヲ示シテ交渉委員トシテ職工ノ意見ヲ開陳シ又  
交渉ナサントスル者ヲ叱ハタルニ永田重役ハ令社ハ電正令ナルモノヲ

認メスト其ノ存在ヲ否認シタルニ尾川リ電正令ハ川崎造船所ニ電工作  
部職工ノ全部ヲ抱擁セハ組合ナルガ故ニ其実質ニ於テリ一電正令  
トナフモ電氣又工作部職工一同トナフモ何等ノ由アル事トシテ説明シ要  
求書ヲ提出シテ回答ヲ求メタルニ永田重役ハ令社ヲ認メサル一電正  
令ノ要求書ニテ受取スルヲ得ズ保シテ應朗讀セヨト從シテ交渉委  
員中一之ヲ阻止スルモノアリトモ受ニテ朗讀シタリ而シテ永田重役  
ハ此場合ハ斯要求書ヲ提出セサルガ相互ノ利益益ナラスヤ社長モ  
本之ヲ十月乃至十一月ニハ常報スルヲ以テ夫止得テ得サル程急迫  
セル向懸シモアラザル可シ如何ナル形式ニ依テ提出スルモ令社ハ受理  
シ且ツ之ヲ受理スルヲ得サル爲メ拒絶スルノ外ナシ故ニ此ノ願未シ  
職工ニ報告シ此ハシトテ謝辞示引取ルル健シタリ然レニ尾川委員  
ハ令社ノ謝意ナキヲ以テ一併ノ謝意ヲ有スルナラハ受理スベキ  
仕都合ノモノナリト語リ永田重役ハ之ニ對シ受理ストモ実行出来